

平成30年度 第4回東区協議会次第

日時：平成30年7月25日（水）午後1時30分から

会場：東区役所 3階 31、32会議室

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 協議事項について

平成30年度浜松市東区市民活動表彰について

【区振興課】

(2) 地域課題について

東区協議会委員会活動の報告について

4 その他

(1) 東区の取り組み

(2) その他

(3) 8月の開催予定 平成30年8月24日（金）午後1時30分から

会場：東区役所 3階 31、32会議室

5 閉会

第9号様式

区 分	<input type="checkbox"/> 諮問事項 <input checked="" type="checkbox"/> 協議事項 <input type="checkbox"/> 報告事項				
件 名	平成30年度浜松市東区市民活動表彰について				
事業の概要 (背景、経緯、 現状、課題等)	<p>【市民活動表彰の趣旨】 優れた市民活動を行う団体を表彰することで、団体のモチベーションを高めるとともに、多くの市民に市民協働をPRし、市民主体のまちづくりを継続的に推進するもの。</p> <p>【表彰までの流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 区長賞受賞団体については、各区の区行政推進会議で審査し、各区協議会に意見を求め、その意見を踏まえ区長が決定する。 ・ 区長賞受賞団体は原則1団体とする。 ・ 市長は各区で選出された区長賞受賞団体について、審査を行い、市長賞受賞団体を決定する。 				
対象の区協議会	東区協議会				
内 容	浜松市市民活動表彰（区長賞）の決定について、区協議会に意見を求めるものです。				
備 考 (答申・協議結果を得たい 時期、今後の予定など)	平成30年9月に市長賞受賞団体が決定予定				
担当課	区振興課	担当者	鈴木勝久	電話	424-0115

必要に応じて、記入枠の拡大や資料等の添付をしてください。

市民活動団体推薦書

候補者	団体名 (グループ名)	(フリガナ) トクセイエイカクツウジン セキシカガヤキカフェ		
		特定非営利活動法人 積志かがやきカフェ		
	所在地	浜松市東区有玉北町 1 2 2 9		
団体 連絡先	住所	〒 浜松市東区	電話	***-***-****
	メール アドレス	Yk281106@jc4.so-net.ne.jp	F A X	***-***-****
推薦理由		<p>平成 27 年に団体が設立され、それ以来、地域住民へ防災意識の向上を目的に様々な事業を実施している。</p> <p>特に、要援護者の防災意識の向上、災害への関心を高めることが大切であると考え、平成 29 年度に災害時に役立つ「防災ひめくりカレンダー」を作成し、東区内の 75 歳以上の独り暮らしの高齢者や高齢者夫婦の世帯へ、民生委員、自治会及び行政と連携し配布を行った。</p> <p>カレンダーは、「高齢者一人でも、自分の命は自分で守るには、どの様な備えや知識が必要か」が一目でわかるように作られている。繰り返し見ることによって、災害時に不安を抱える高齢者の防災意識の高揚、防災機能のレベルアップに多いに貢献しており、地域の防災意識の向上に役立っている。</p>		

東区長賞選考資料

(ふりがな) 団体名	特定非営利活動法人 積志かがやきカフェ	(ふりがな) 代表者氏名	かわい ようこ 河合 洋子
e-mail	Yk281106@jc4.so-net.ne.jp	電話番号	***-***-****
		FAX 番号	***-***-****
団体設立年月	平成 27 年 4 月 15 日	団体員数	31 名
団体活動目的	東日本大震災で被災した大船渡市を中心に東北支援活動を行うとともに、地域における防災防犯対策及び、環境保全、地域安全等に関する事業を実施し、積志地区の町づくりの拠点として、受援力（ボランティアを地域で受け入れる力）を高め、安全・安心な生活、災害に強く住む人に優しい町づくりの推進に寄与する。		
これまでの 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災対策講演会・意識啓発活動 ・ 被災地支援活動 ・ 災害に強いまちづくり支援活動 ・ 防災教育支援活動及び情報発信 		
P R し た い 活 動 実 績 の 概 要	活動名	安全安心な地域づくりに関する事業 いざという時のお役立ち防災日めくりカレンダー ～ つながって・つながって ～ 作成・配布事業	
	活動の期間	平成 29 年 12 月から継続中	
	活動財源 該当するもの全 てに○	行政からの補助金・団体会費・寄附・当該活動により得た収益 その他（大和証券福祉財団 等からの助成金）	
	活 動 の き っ か け	浜松市では、東南海地震が叫ばれているが、住民の関心や意識、備えには大きな差がみられ、地域や住民の実情に応じた対策が課題であり急務と考えた。中でもあまり光が当たっていない要援護者の防災意識の向上、災害への関心を高めることが大切であると考え実施した。	
	内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 日めくりカレンダー作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 配布計画、PR 方法の検討 2 日めくりカレンダー使い方及びPR（マチネコンサート） <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災講話 ・ 使い方説明 ・ 演奏会&体験談 3 日めくりカレンダー配布(2,500部) <ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員、自治会、行政（区役所・協働センター）連携 	
	成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に住む高齢者の防災意識の高揚 ・ いざという時のための防災対策の推進 ・ 住民としてできる「自助」と「共助」 ・ 災害時に備えての役立つ方策、心構え、実行力の育成 	
	この活動につ いて更に発展 させたいこと	防災日めくりカレンダーは、地域の防災意識の向上に役立つため、他の地域でも活用されることを期待する。	
	活動に協力し た団体等	行政・企業・NPO・学校・市民・その他（民生委員） 協力の内容 行政：日めくりカレンダーの配布 企業：助成金 民生委員：日めくりカレンダーの配布	

防災日めくりカレンダー
「つながつてつながつて」発行記念

防災カフェ



積志かがやきカフェが制作した、いざという時のために
防災お役立ち万年日めくりカレンダー「つながつてつな
がつて」の発行を記念して、防災カフェを開催します。
コーヒーを飲みながら、日頃から災害に備えてできるこ
とを考えてみませんか？

防災講話

被災地からの教え～災害に対する地区の対応について

NPO 法人みやぎ災害救援ボランティアセンター理事

三宅 偉雄 氏

防災日めくりカレンダー制作発表

防災弱者である高齢者に防災意識を高めてもらいたい、という
願いから、日頃の防災に役立つ五・七・五を31個集め、繰り返
し見てもらえる万年日めくりカレンダーに一日一語掲載しました。
今回来場の皆様にも特別プレゼントします！



2018

2/24(土)

9:30開場 10:00開始
(12:00 終了予定)

会場

上瀬公会堂

(浜松市東区有玉北町 640)

料金

300円 コーヒーつき

問い合わせ

NPO法人 積志かがやきカフェ

浜松市東区有玉北町1229番地(浜松珈楽庵内)

090-1478-9853 (河合)

info@kagayakicafe.com

主催：NPO 法人積志かがやきカフェ

共催：珈楽庵

積志地区自治会連合会

積志地区社会福祉協議会

助成：東区地域力向上事業



新たな挑戦へ～地域とともにステップアップ～

理事長あいさつ

東日本大震災が発生して、もうすぐ7年になるうとしていきます。まだ7年と思うのかも7年と思うのかは、人それぞれ様々だと思いますが、昨年9月に大船渡市を訪問して、中学校の運動場全面に建っていた仮設住宅がすべて撤去され、運動場がやっと子供たちの物になったこと、かさ上げされた街中に新しい商業施設が増えて活気が出ていたことなど、少しずつですが確かに復興の形がみえてきたと感じました。

このような中、私たちは、あの体験や教訓を今後発生が予想される大きな災害時に生かしたい、東北を忘れないでいたいと考え、平成27年4月にNPO法人「積志かがやきカフェ」を設立し、もうすぐ4年目を迎えます。

本年度は、昨年度まで開催してきた防災カフェ、防災イベントに加えて活動拠点である浜松市積志地区を中心に、活動を通して互いの思いを交流し合い、より絆を深めることで、地域の受援力(支援を受け入れる力)を高めていくことを重点に取り組みたいと考え、2つの大きな

事業を計画し実施しています。

その第1は、地元の寺や公会堂など住民に馴染み深い場所で、音楽と防災のコラボレーションとして、マチネ(昼会)コンサートを開催し、顔が見える関係づくりをすること。

その第2は、防災弱者である高齢者への意識向上のための「いざという時のお役立ち日めくりカレンダー」つながってつながっての発行、配付をすること。

これからも、大船渡市を中心に東北支援を継続するとともに、積志地区での活動を通して交流し合い、絆を深めあい、地域の受援力(支援を受け入れる力)を高めていきます。そして、最終的には、市民総がかりでの協働による未来にかがやくまちづくりに貢献したいと考えています。

引き続き、私たちの活動をご理解いただき、共に活動してくださる方、支援していただける方をお待ちしています。どうぞよろしくお願ひします。

NPO法人積志かがやきカフェ
理事長・河合洋子

活動一覧 (2016.7-2017.9)

- | | |
|-------------------|---|
| 2016年 | 2017年 |
| ● 7/17 横道毅 紙芝居上演会 | ● 3/11 復光キャンドルナイト |
| ● 9/27 防災カフェ | ● 6/24 マチネコンサートvol.1 P.3 |
| ● 11/27 防潮堤植樹 | ● 6/28- 防災冊子制作スタート |
| ● 12/7 防災カフェ | ● 9/2 マチネコンサートvol.2 P.3 |
| ● 12/29 忘年会 | ● 9/7-8 大船渡訪問 P.2 |

防災日めくりカレンダー完成!

日頃の備えに焦点を当てた防災日めくりカレンダー「つながってつながって」ができました!東区在住高齢者(75以上)世帯の皆様には無料配布します。イベントなどでは販売もしていきますので、日々の備えにお役立てください。



学んで身につける防災

大船渡訪問

レポート

会員 三輪清・伊藤智雄



日程
2017年
9月6日(水)~8日(木)

参加者
河合洋子、河合哲也
高林次枝、伊藤智雄
三輪清 計5名

今回は宮城県石巻から岩手県の大船渡までリアス式の海岸線を北上したが、3.11から丸6年半が経過した現在も復旧、復興は道半ばで、ダンブカーが走り、大型の重機が動き回っていた。今後どれだけ時間がかかるのだろうか？それ以上に被災された方々の心の傷は大きく癒えるまでには、永い年月がかかると思われるが、皆さん必死に前を向いて励んでいる姿を見て逆にこちらが勇気づけられた。私たちは、3.11を決して忘れることなく後世にしっかり伝えたい。そのためには一度現地を見て、今の姿を自分自身の眼に焼き付けることを望みたい。

最後になりましたが、陸前高田に到着時から丸一日同行・案内頂いた柏崎先生をはじめ、夜遅くまでご接待を頂いた前大船渡中学校長の金先生、佐藤なほ子さんに、本レポートの誌上を借りて厚く御礼を申し上げます。

大船渡市役所を訪問、浜松市から出向し大船渡の復旧活動に励んでいる5名の方と対談をした。皆さん、浜松からの訪問をすごく喜んでくれ、時の経つのも忘れ話し込んだ。



大船渡市役所

昨年『山法師』の植樹をした越喜来(おきらい)の公園、到着すると地主の片山和一郎さんご夫妻が待っていてくれた。再会を喜び合うとともに親しく歓談をした。この入り江にある海水浴場も大きな被害を受け現在は泳ぐことが出来ないが、砂を運び海水浴ができるよう復旧していくとのことであった。



おきらいの公園

玄関には『歓迎NPO法人“積志かがやきカフェ”の皆様』の看板が掲げられ、出迎えを受けて校長室へ案内された。長澤校長にマチネコンサートでの収益金や参加者からの寄付金を贈り、復旧状況や近況、思い出話等をした。またここでは東海新報(大船渡、陸前高田近辺の地方紙)の記者が取材に訪れ、今回の訪問を大きく取り上げてくれた。



大船渡小学校



うみねこキッズ訪問。小学1~6年生の子供たちが元気に出迎えてくれた。子供たちやスタッフの皆さんと歓談し楽しいひと時を過ごした。ここでは高林副理事長が育てて収穫した浜松産のおいしい米を届け大変喜んでくれた。

校庭脇の土手には平成25年に積志小学校が贈った桜が「夢・希望・友情の桜」と名付けられ大きく育っていった。



碓石海岸「穴通磯」

国の名勝・天然記念物と日本の渚・百選に指定されている碓石海岸、この「穴通磯」は海水の浸食によって岩に穴が開いた見事な景色だった。津波による被害は受けたようであるが、比較的少なかったとのこと。ひと回り巡った後、レストハウスでいただいた昼食は新鮮な海の幸満載、大満足でした。



奇跡の一本松

一本松茶屋前の駐車場で出迎えに来てくれた柏崎先生と落ち合い「奇跡の一本松」を巡った。被災時のままの周りの建物とモニュメントの松を見ると辛さがこみ上げてきた。



石巻市立大川小学校跡地

児童74名と先生10名が津波の犠牲となり、今なお4名の子供が行方不明のまま、この場に立って改めて涙が溢れ出してしまった。跡地入口に作られている祭壇に智雄和尚がお経を唱え、皆で焼香をして犠牲となった方々のご冥福を祈った。無残な姿になった校舎は遺構としてこのまま後世に残すことになったそうである。



マチネコンサート

地域のあらゆる場所をカフェに仕立ててひらく積志かがやきカフェの昼会「マチネ」。いざという時はもちろん、普段から楽しく交流ができる拠点や機会をいろんな場所に作っていききたいという思いから2017年度から始めた企画です。

第一回は、東区有玉北町にある龍秀院で「お寺と防災とクラシック」をテーマに、第二回は、旧鈴木家屋敷と橋爪新田公会堂で「お屋敷×防災×シャンソン」をテーマに、それぞれ珈楽庵特製のコーヒータンやサンドイッチ、ケーキを食べながら、音楽を楽しみ、防災について考える積志かがやきカフェらしいゆったりとした時間を作ることができ、また私たちの活動場所も広げることができました。

これからも地域の皆さんと気軽に防災について考える時間を作れればと思います。お越しいただいた皆様、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました！



マチネコンサートvol.1 日時：2017年6月24日（土） 11:00-14:30 会場：龍秀院
一部：龍秀院・伊藤智雄和尚 法話 二部：前大船渡小校長・柏崎正明氏 防災講話 三部：バリトン歌手・竹内利樹氏 コンサート



マチネコンサートvol.2 日時：2017年9月2日（土） 9:00-12:00 会場：旧鈴木家屋敷、橋爪新田公会堂
一部：旧鈴木家屋敷跡地ツアー 二部：浜松市危機管理課 安野格史氏 防災講話 三部：シャンソン歌手・荒木勝子氏 コンサート

心温まる支援に感謝

大船渡市立大船渡小学校

元校長 柏崎 正明

九月七日、NPO法人積志かがやきカフェの皆さん四人が、大船渡市立大船渡小学校や放課後児童クラブ「うみねこキッズ」を訪れました。六月二十四日に、浜松市で開いた「マチネコンサート」の収益金や参加者から募った善意の寄付金を届けてくれたのです。

大船渡小学校の長澤校長先生やうみねこキッズの森主任指導員は、震災直後から続いている心温まる支援に感謝の気持ちを新たにしていきました。

大船渡市では、震災後、小学校五校・中学校四校の校庭に仮設住宅が建設されました。その仮設住宅は今では撤去され、子どもたちは、遊びや体育の授業、部活動、運動会等で広い校庭を使えるようになりました。歓声を上げながら校庭を駆けまわっている子どもたちの姿を見ていると、とても嬉しくなり元気が湧いてきます。

新会員紹介

河合洋子先生が、かがやきカフェを主宰されたと聞いて、何を？と思っていました。事情がわかり、微力ながら、共に活動させていただきたいと思い、息子と共に入会致しました。(左口正紀)

人生には3つの坂がある。「上り坂、下り坂、そして、まさか」。大地震の前には無力に近い私たち。でも、「やれること、やらなくては行けないこと」はいくらもある。それを「かがやきカフェ」の皆さんと学びたいと思って、入会させていただきました。(宮本 正顕)

東日本大震災をきっかけに災害に対する備えに興味を持ち、常日頃からどのような準備をし、心構えを持てば良いのかを知りたいと思い、当会に参加を致しました。(左口 正隆)

会社勤めの時は災害対策室に所属し、企業防災の業務を経験して来ました。地域における防災では、若い頃の消防団と、最近の自主防災隊を少しばかり手伝いました。近頃の大地震、風水害、土砂災害等を目のあたりにし、少しでも地域のお役に立てればと思いい入会させていただきました。形ばかりですが「ふじのくに防災士」「日本防災士機構『防災士』」の称号を得ています。(三輪 清)

声を掛けていただいたご縁があり、入会しました。積志地区に住んでいながら、実は地元のこと何もしらない、防災に対する意識も薄かったことにハッとさせられました。これからは住んでいる地域の中で足元のネットワークを大切にできることをしていきたいと思えます。(鈴木 康世)

リーディング
コラム
vol.3

わたしと防災

かがやきカフェ会員
松島 雅子

私の家は120年も経っている木造建築住宅です。

そんなことで自然災害の中でも地震が一番怖いのです。この地域では30年以内に75%の確率で大地震が起こるといわれております。

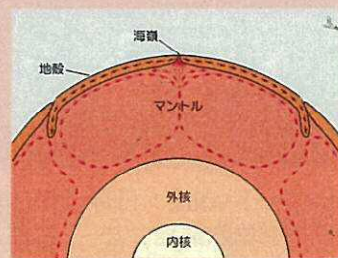
私たちがかがやきカフェでも毎年有志が大船渡に慰問に行き、あちらの方も浜松にいらして大地震災害の啓蒙活動をしております。

以下は、地震が起きたとき慌てないために、そもそも地震がなぜ起こるか、災害時にはどんな行動をしたら良いか、勉強したことや印象に残る啓蒙的知識だったり逐条的に書き出してみたいものです。お役に立ったら大変ありがたいです。

【地震はなぜ起こるのか?】

地球を鶏の卵に例えようと、殻に当たるのが当たるのがプレート、白身に当たるのがマントルである。黄身に当たるのが核である。プレートは10数枚の層が集まりが地表を包むのだが、年間異なる方向に数センチずつ移動する。マン

トルの80%を占めるがマントル対流によってプレートが一定方向に引きずられるため地震が起こる。



【地震時に生存確率を高める】

①ゴブリンポーズ

姿勢を正してしゃがみこむ。地面や床、片膝と反対の足の裏で3点支持をして倒れないようにする。両手は拳を作り頭の両隅にしつかりと置いて落下物から頭を守る。



②発生時に怪我をしない

切り傷や骨折で出血して失血により死に至る場合がある。手当が遅れるからである。

③クラッシュ症候群に注意する

倒壊物の下敷きになったり挟まれると筋肉が押しつぶされることにより、筋肉からカリウムやミオグロビンが発生して毒素が全身に回ることで、助け出されても命を落とす。

入会案内

NPO法人積志かがやきカフェでは、会員となって一緒に活動して下さる方を募集しています。入会をご希望される方は、パンフレットに添付されている入会申込書をご記入・押印の上、事務局までお送りください。

会 員	年会費	3,000円
特別会員	年会費	10,000円 (入会金 10,000円)
ユース会員	年会費	なし
サポート企業	協賛金	一口 10,000円~/年

定例会は、毎月第一火曜に、浜松珈楽庵にて行なっています。

NPO法人積志かがやきカフェ会報誌 vol.3 つながって つながって

2018年2月6日発行

発行人 河合洋子 編集・デザイン 植野聡子

*この会報誌は、東日本大震災復興支援商品として日本製紙石巻工場が開発された印刷用紙「モンテシオン」を使用しています。

©積志かがやきカフェ 2018 禁・無断転載

[問い合わせ]

NPO法人積志かがやきカフェ

〒431-3121

静岡県浜松市東区有玉北町1229 浜松珈楽庵内

053-543-9070

info@kagayakicafe.com

http://sekishi-kagayakicafe.wixsite.com/npo-kagayakicafe



区協議会の開催日程（7月）について

このことについて、次のとおり区協議会が開催されますのでお知らせします。

協議会名	回数	日時	場所	会議内容(予定)	傍聴定員	問合せ先
中区協議会	第4回	7月25日 (水) 13:30～	浜松市役所 北館1階 101会議室	・(協議)平成30年度浜松市中区市民活動表彰について ・(協議)地域課題について ・その他	10人程度 (先着順)	中区役所 区振興課 TEL:457-2210
東区協議会	第4回	7月25日 (水) 13:30～	東区役所 3階 31・32会議室	・(協議)平成30年度浜松市東区市民活動表彰について ・地域課題について ・その他	10人程度 (先着順)	東区役所 区振興課 TEL:424-0115
西区協議会	第4回	7月25日 (水) 13:30～	西区役所 3階 大会議室	・(協議)平成30年度浜松市西区市民活動表彰について ・地域課題について ・その他	5人程度 (先着順)	西区役所 区振興課 TEL:597-1112
南区協議会	第4回	7月26日 (木) 13:30～	南区役所 3階 大会議室	・(答申)市営住宅の一部廃止について(新橋団地及び遠州浜団地の一部) ・(協議)平成30年度浜松市南区市民活動表彰について ・(協議)平成30年度地域力向上事業の提案について ・地域課題について ・その他	5人程度 (先着順)	南区役所 区振興課 TEL:425-1120
北区協議会	第4回	7月26日 (木) 13:30～	北区役所 3階 31・32会議室	・(協議)平成30年度浜松市市民活動表彰区長賞候補団体について ・(協議)平成30年度地域力向上事業の提案について ・地域の情報等について ・その他	5人程度 (先着順)	北区役所 区振興課 TEL:523-1168
浜北区協議会	第4回	7月26日 (木) 13:30～	浜北区役所 3階 大会議室	・(協議)平成30年度浜松市市民活動表彰区長賞候補団体について ・(協議)平成30年度地域力向上事業の提案について ・地域課題について ・その他	10人程度 (先着順)	浜北区役所 区振興課 TEL:585-1141
天竜区協議会	第4回	7月25日 (水) 14:00～	天竜区役所 2階 21・22会議室	・(諮問)財産譲与に伴う熊財産区の廃止について ・(協議)平成30年度浜松市市民活動表彰区長賞候補団体について ・地域課題について ・その他	5人程度 (先着順)	天竜区役所 区振興課 TEL:922-0013

市民部 市民協働・地域政策課 担当：増田
TEL 457-2094

第2回交通安全委員会 議事概要

日 時 平成30年7月17日(火) 10:00~11:00

会 場 東区役所 33会議室

出席者 大軒 孝幸、齋藤 國弘、齋藤 孝明、齋藤 宣男、佐藤 公治、高橋 和美、田中 充
(50音順・敬称略)

事務局 鈴木 勝久、梅尾 友里奈(区振興課)

1 敬老会チラシについて

(チラシ内の啓発文)

- ・今回取り上げる2つのポイントは以下のとおり。
 - ①交差点はイエローストップ!
 - ②横断時は左右をしっかりと確認!
- ・各ポイントの内容は、箇条書きにして完結にまとめる。

(交通安全標語)

- ・遠州弁は現在あまり使われていないので、標準語の標語も加える。
- ・今回の標語は以下のとおり。
 - ①「交差点 入っちゃだめだに 黄色では」※遠州弁
 - ②「くらぼったい 服じゃあ夜道は はあ危ない」※遠州弁
 - ③「イエローで アクセル踏んだら レッドカード」
 - ④「つけてるよ! 夜でも目立つ 反射材」
 - ⑤「赤信号 絶対止まれ 事故の元」

2 平成30年度の活動について

- ・次回の委員会では、警察(交通第一課長もしくは係長)から交通事故の現状について話をしてもらいたい。⇒事務局にて、警察と調整
- ・今後の活動として、交通事故多発交差点の現場診断などを行ってほしい。

3 その他

- ・次回開催日 8月2日(木) 午前10時~ 東区役所3階33会議室

平成30年度 第2回東区協議会地域防災委員会 活動報告

開催日 平成30年7月19日(木) 午前9時30分から

開催場所 東区区役所 第32会議室

出席者 森和彦委員長、村木克郎委員、藤田昌良委員、鈴木洋次委員
河合洋子委員、河合よしの委員、小池太江子委員

事務局 井田正人、吉垣幸和、杉森保雄

1 議事

(1) 東区の災害特性(区振興課から)

(事務局より、東区の災害特性と、想定される災害への備えについて説明)

- ア 地震について、静岡県第4次被害想定に基づく推定震度、推定液状化危険度、津波被害の有無など。
- イ 風水害について、天竜川、安間川、馬込川がはん濫した場合の浸水想定地区や、土砂災害地域。
- ウ 浜松市ホームページに浜松市防災マップが掲示されていて、パソコンやスマートフォン上でも確認ができること。
- エ 避難所(市が開設する避難所、福祉避難所、予備避難所や、地域で自主的に開設される避難所)の数や、市が開設する避難所の備蓄品(飲料水含む)について。
- オ 福祉避難所の受入対象者、開設のタイミング、開設期間や役割等について。
- カ 風水害の対応として、安間川遊水池、土のうステーション等について。
- キ 災害時における応急水源、給水資機材、飲料水兼用耐震性貯水槽の現状について。

(地域防災委員からの意見)

- ア 福祉避難所の受入対象者の決定はどのタイミングで誰が行なっていくのか、理解されているのか?
- イ 大きな訓練も良いが、地域避難所毎における運営訓練をやってみてもいいのではないか。各自主防災隊への役割分担を明確にして、災害発生時に混乱しない組織を作り上げていくことが必要。
- ウ 福祉避難所が竜西荘のみでは、収容能力を超えてしまう場合があるので、周知方法に工夫が求められる。
- エ 地域防災委員会の話し合いでまとめられた意見を、危機管理課へ報告し反映してもらいたい。

オ 議論していることは大切なことなので、他委員会へ参加し意見交換を行なってはどうか。

(事務局)

いろいろな貴重な意見が述べられ、各意見を尊重しながら具体的な行動を考案していくこととする。特に避難所運営ができる組織作り、それに伴う訓練が必要である。

(2) 年間計画について

地域防災委員会の意見を取りまとめ進行していくこととする。

(3) その他

特になし

2 次回開催予定

日時 平成30年9月19日(水)午後1時30分から

会場 東区役所第33会議室

はままつ友愛の高齢者プラン【第8次浜松市高齢者保健福祉計画】について

長寿保険課

1 目的

高齢者に関する各種の保健福祉事業や平成12年度にスタートした介護保険制度の円滑な実施をはかるための総合的な計画として、「浜松市高齢者保健福祉計画」と「浜松市介護保険事業計画」を一体的に策定した計画の総称

【策定根拠】

総称	名称	根拠規定等
はままつ友愛の高齢者プラン	第8次浜松市高齢者保健福祉計画	老人福祉法第20条の8
	第7期浜松市介護保険事業計画	介護保険法第117条第1項

2 重点施策の進捗状況の報告

No.	施策	取り組みの方向	進捗状況
(1)	健康寿命の延伸	健康で明るく生き生きできるよう健康づくりを支援し、介護予防と一体的に推進します。	新たな介護予防「ロコモーショントレーニング事業」の推進 など
(2)	地域包括ケアシステムづくりの推進	自立した生活を営めるよう医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを切れ目なく、一体的に提供する「地域包括ケアシステム」づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療、介護連携相談センターの運営 浜松市認定在宅医療、介護対応薬局制度の開始 介護予防、日常生活支援総合事業の導入 など
(3)	認知症対策の推進	医療、介護サービス、日常生活の支援サービスが包括的に提供される体制づくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> オレンジシール・オレンジメール事業の開始 認知症サポーターの養成 認知症カフェ運営助成の開始 など
(4)	高齢者見守り・支援体制の拡充	地域における見守り・支援体制の拡充を図ります。	ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の実態調査の継続実施 など
(5)	特別養護老人ホーム・介護付き有料老人ホームの整備推進	待機者解消のための計画的な施設整備を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム整備 H27⇒H29 769床増加 介護付き有料老人ホーム整備 H27⇒H29 335床増加
(6)	元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支える新たな仕組みづくりの推進	ボランティア活動を通じた地域貢献を奨励・支援して高齢者が高齢者を支える社会参加の仕組みづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ささえあいポイント事業の開始 (地域ボランティア全市展開)

3 はままつ友愛の高齢者プランより重点施策の説明

東区地域力向上事業

アグレミーナ浜松とのふれあい交流事業について

区民生活課

1 目的

「プロスポーツ選手になる。」という夢を実現された選手の方々に、直接フットサルを教えていただき、児童の夢を育み、健全育成及び技術の向上を図るため、東区内居住の小学校4年生から6年生を対象に、浜松市東区の浜松アリーナをホームスタジアムとするアグレミーナ浜松の選手によるフットサル教室を開催いたします。

2 事業内容

- (1) 名 称…アグレミーナ浜松とのふれあい交流事業（フットサル教室）
- (2) 講 師…アグレミーナ浜松の選手
- (3) 日 時…平成30年8月21日（火） 午後2時から午後4時
- (4) 会 場…浜松アリーナ（メインアリーナ）
- (5) 対 象 者…東区居住の小学生4年生から6年生（フットサル・サッカー経験不要）
- (6) 参 加 料…無料（事前の申し込みが必要）
- (7) 定 員…40人から50人程度（超えた場合は抽選）
- (8) 申込期間…平成30年7月1日（日）から平成30年7月31日（火）
電話（411-9037）若しくは FAX（443-9216）又はアグレミーナ公式HP内メールフォームにて申込。
①住所 ②氏名 ③学年 ④生年月日 ⑤連絡先（電話、メールアドレス）

【参考：フットサルとは？】

- (1) コート ⇒ 18-22m(縦) × 38-42m(横)
※ゴールの大きさは1m(高さ) × 3m(幅)
- (2) ボール ⇒ 大きさ：62-64cm(外周)、20cm(直径)、
重さ：400-440g
- (3) 競技者 ⇒ 5人（ゴールキーパーを含む。）
- (4) 時 間 ⇒ 前後半それぞれ20分
各チームは、前後半1回ずつ1分間のタイムアウトを要求できる。
- (5) 主なルール
ア タッチラインからのプレー再開は、キックインで行う。
イ ゴールラインからのプレー再開は、ゴールキーパーのスローイングで行う。
ウ 交代は審判の承認なく、何人でも可能。
エ 過度なコンタクト（ショルダーチャージ等）は禁止。
オ オフサイドは無し。
カ 4秒ルール（プレーの再開はボールをセットしてから4秒以内に行う。）を採用。



フリーク アグレミーナ浜松 東区 フットサル教室

事業名： アグレミーナ浜松とのふれあい交流事業業務

主催： 浜松市東区

主管： 株式会社AGREY

日時： 2018年8月21日(火) 午後2時～午後4時(受付 午後1時30分～)

場所： 浜松アリーナ・メインアリーナ(東区和田町)

対象： 東区内に居住の小学4～6年生

定員： 40～50名程度(応募多数の場合は抽選となります)

参加費： 無料

持ち物： 室内用シューズ、飲み物等

◇事前のお申し込みが必要です◇

申込受付期間： ～7月31日(火)

必要事項(氏名、住所、学年、生年月日、TEL、メールアドレス)をお知らせください。

申込方法① 電話で。TEL 053-411-9037(平日9～16時)

申込方法② FAXで必要事項を書いて送信。FAX 053-443-9216

申込方法③ メールに必要事項を入力。MAIL info@agrey.co.jp

申込方法④ アグレミーナ浜松公式HPメールフォームを使う ▶▶▶

お問合せ先 アグレミーナ浜松事務局 担当：寺田

TEL 053-411-9037 / MAIL info@agrey.co.jp



「社会を明るくする運動」について

東区社会福祉課

◆「社会を明るくする運動」（法務省事業）とは、すべての国民が犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動

1 広報活動出発式

概要

「社会を明るくする運動」の一環として、毎年7月の強調月間に保護司会が中心となって広報車による広報活動を実施するもの

日時・場所

7月5日（木）午前9時15分、東区役所正面玄関前

出席者

東区保護司会約15人、人権啓発センター職員1人、区長以下東区役所職員5人。うち保護司2人が広報車に同乗して各協働センターを回り、チラシ、ティッシュ、ポスターを配りながら広報活動を実施した。

H30.7.6 静岡新聞

2 街頭啓発

日時・場所

- ① 7月20日（金）午後3時30分
リブロス笠井
- ② 7月21日（土）午後4時00分
遠鉄ストア西ヶ崎店
- ③ 7月28日（土）午後3時30分
イオンモール浜松市野店

内容 クリアファイル、ティッシュ配布による啓発活動

東区 社明運動の広報活動出発式

浜松市東区保護司会は5日、犯罪や非行のない社会を目指す「社会を明るくする運動」の広報活動出発式を同区役所で開いた＝写真＝。

7月は同運動の強調月間。会員や区職員ら約20人が参加した。鈴木知子区長が「皆さんの活



動を通じて犯罪のない社会になることを願っています」とあいさつした。同会の鳥居勝馬会長は「犯罪を未然に防ぐためには皆さんの力が必要。日頃からアンテナを高くし、目配り気配りをお願いします」と呼び掛けた。

会員らが広報車に乗り込み、「力を合わせて安心して安全な明るい社会をつくりましょう」などと呼び掛けながら、区内五つの協働センターに啓発品を届けた。

H30.7.6 中日新聞



同会には三十三人の保護司が所属。今後、協働センターや小中学校を回り、啓発ポスターの掲示やチラシ配りをする。運動は犯罪や非行を防止、更生を支援する取り組みを広げるが目的で、講座や作文コンテストが全国各地で開かれている。（鈴木凜平）

再出発見守る社会へ

「明るくする運動」

東区で広報車出発式

「第六十八回社会を明るくする運動」の広報車出発式が五日、浜松市の東区役所であった＝写真＝。法務省は七月を運動の強調月間と定めており、保護司らが今回のテーマ「あなたのまなざしで再出発を見守る社会へ」を地域に訴えていく。

式には保護司や鈴木知子区長、区職員ら約二十人が出席した。東区保護司会の鳥居勝馬会長（左）＝東区積志町＝が「私たち地域の目配り気配りが大事。日頃からアンテナを高くしていき」とあいさつし、広報車に乗り込んだ保護司の三人を見送った。